



令和3年(2021年)4月21日第1号 於福中学校発行

「着任にあたって」

校長 数井 英二

このたび於福中学校に校長として着任した数井英二(かずい えいじ)と申します。下関市の中学校からまいりました。美祢市にはご縁があって、これまで大嶺中学校と厚保中学校に勤めたことがあります。4月8日(木)の着任式で話した内容の概要をお伝えして、着任のごあいさつといたします。

「今年度、於福中学校の全校生徒は6人です。私は保健体育を教えていたせい、6人ときいて最初に思ったのは、バレーボールのチームができるなあということです。於福中には卓球部があります。卓球の団体戦も6人1チームです。皆さんの中には剣道や水泳を頑張っている人がいると聞きました。剣道の団体戦は5人、水泳のリレーチームは4人です。全校6人でもできることはいろいろあります。よりよい成長をめざしてみんなで頑張りましょう。」

学校だより「チームおふく」のタイトルのように、生徒・教職員が一丸となって、小中共通の「学校教育目標」の達成を目指します。そのためには保護者、地域の皆様のお力が何よりの支えです。よろしくお願いいたします。

【学校教育目標】

「ふるさとを愛し 学ぶ意欲と豊かな
人間性にあふれた 心身ともに逞しい
児童生徒の育成」

【めざす生徒像】

- (1) 自ら学ぶ意欲をもち心身ともに逞しい生徒
- (2) 感性豊かで心温かい生徒
- (3) 夢の実現に向けて努力する生徒
- (4) 地域を知り、地域を愛する生徒

【めざす学校像】

- (1) 行きたい学校(生徒)
- (2) 通わせたい学校(保護者・地域)
- (3) 働きたい学校(教職員)
- (4) 関わりたい学校

【めざす教師像】

- (1) 生徒を認め、ともに伸びる教職員
- (2) 使命感をもち、専門性を高め合う教職員
- (3) 活力に満ちた、実践力のある教職員
- (4) 生徒・家庭・地域から信頼される教職員

第1回学校運営協議会



4月15日(木)於福公民館において、運営委員の皆様に加え、美祢市教育委員会より杉山指導主事様、内山社会教育主事様をお招きし、第1回於福小中学校運営協議会を行いました。

小、中学校の今年度の経営ビジョンや小中地域連携カリキュラムの説明を行い、委員さんからのご承認を得ることができました。

杉山指導主事様からも、今進めている於福型のコミスクは、小規模の良さを生かした連携とフットワークの軽さが強みになるとのご示唆をいただき、会場の皆が大変心強く感じたところでした。

始業式



4月8日(木)着任式と始業式が行われました。新入生がなかったため、入学式のない少さびしい新学期のスタートでした。とはいえ、着任された校長先生を歓迎する、生徒代表のあいさつや態度は素晴らしく、見ていてすがすがしいものでした。

校長は式の中で「自主・敬愛・実践」という校訓のもつ意味が、新しい指導要領の考え方にも通じ、これから目指す目標や学び方、生き方や進路の選択にも共通する大切な考え方だという話をしました。例え、全校生徒数は少なくとも、新しい年に向けた「やる気の熱量」はどこにも遜色ないものでした。

4/13 美祢署のご指導で交通安全教室が行われました。

交通安全教室



4月13日(火)美祢警察署のご指導により、「移動交通安全教室」が行われました。当日はあいにくの荒天で、体育館に特設コースを作った安全教室となりました。自転車に乗っての手信号を出したり、普段はしない二人乗りをあえて行ったりすることで、自転車が不安定な乗り物だということを再確認し、今以上に安全運転に注意する良い機会となりました。

情報モラル教室



4月9日(金)NTT 広島のご協力で、

スマホや携帯電話などを使うときのモラルやルールなど、事例をもとに学習する機会となりました。

生徒達は、便利だからと油断すると、思わぬ落とし穴があることを知り、「今一度自分の使い方を振り返ることができた」という感想でした。

4月に着任しました。(この4名の他、小学校の 教諭と、 養護教諭が中学校との兼務です)

